

単元名 学習のまとめ

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 文字の大きさや配列に気を付けて、字形を整えて書くことができる。
(3) これまでの学習を生かして、自分のめあてを意識して書こうとする。

標準的な展開例

06020302_001

【教材名】『旅立ちの時』（毛筆）／6年間で学習したこと（P. 34～P. 37）

【準備等】練習用紙、まとめ書き用紙、硬筆用練習用紙（中心線のあるものや行頭の位置が示されたもの）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 今までに学習してきたことを生かして『旅立ちの時』を書く。 ★学習してきたことを生かして書こう ○毛筆で『旅立ちの時』を試し書きする。 ○試し書きと教科書の文字を比べて話し合いながら、自分のめあてを決める。</p> <p>○基準を確認する。</p> <p>○練習用紙を選択したり自作したりして『旅立ちの時』を練習する。</p> <p>○『旅立ちの時』をまとめ書きし、自己評価・相互評価をする。</p> <p>○硬筆で『旅立ちの時』『アジアの仲間』を書く。</p> <p>3 6年間の書写学習を振り返り、配列よく書く。 ★6年間の学習を振り返り、配列を整えて書こう ○6年間の書写学習を振り返る。</p> <p>○教科書P. 37の教材文を音読し、試し書きする。</p> <p>○試し書きと教科書とを比較し、配列よく書くための基準を確認する。</p> <p>○自分のめあてを意識して練習する。</p> <p>○まとめ書きし、自己評価・相互評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見ないで書くようにさせる。 教科書P. 35を見て、これまでに学習してきた「文字の大きさと配列、点画のつながり」と関連があることに気付かせる。 教科書の文字と自分の試し書きを比べながら本時の自分のめあてを決めるよう助言する。 教科書P. 35を参考にして、基準を確認させる <p>①平仮名は、漢字よりも小さめに書く。 ②平仮名は丸みのある線で書く。 ③『旅』『時』は、左右の組み立てに注意する。 ④字間や行間、余白に注意する。 ⑤文字の中心を行の中心にそろえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のめあてに合わせて、練習用紙を工夫させる。 <p>【評】練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣席同士で教科書・試し書き・まとめ書きとを比較させ、進歩した点を大いに賞賛し、成就感をもたせるようにする。 <p>【評】作品を通して、文字の大きさや配列などに気を付けて書く「知識・技能」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに書かせる。 硬筆でも、自分のめあてを意識して書くように助言する。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 36の内容について、教科書を参考にしながら振り返らせる。 教科書P. 37を基にして話し合わせてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> 筆者の若田光一氏について、簡単に触れておきたい。 教科書P. 21などを参考にして、振り返りをさせる。 ①用紙の大きさに対する文字の大きさ ②文字同士の大きさ ③字間 ④行の中心と文字の中心 中心線や行頭の位置などが示されている練習用紙を用意し、各自に合ったものを選択させる。 隣席同士で試し書きと比較し、進歩した点を大いに賞賛し、成就感をもたせるようにする <p>【評】作品を通して、これまでの学習や配列に対する「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】